

2009 平成21年

ふれあい 水路

3月号 vol.180

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



特集

平成20年度までの工事
現在、工事はここまで進んでいます



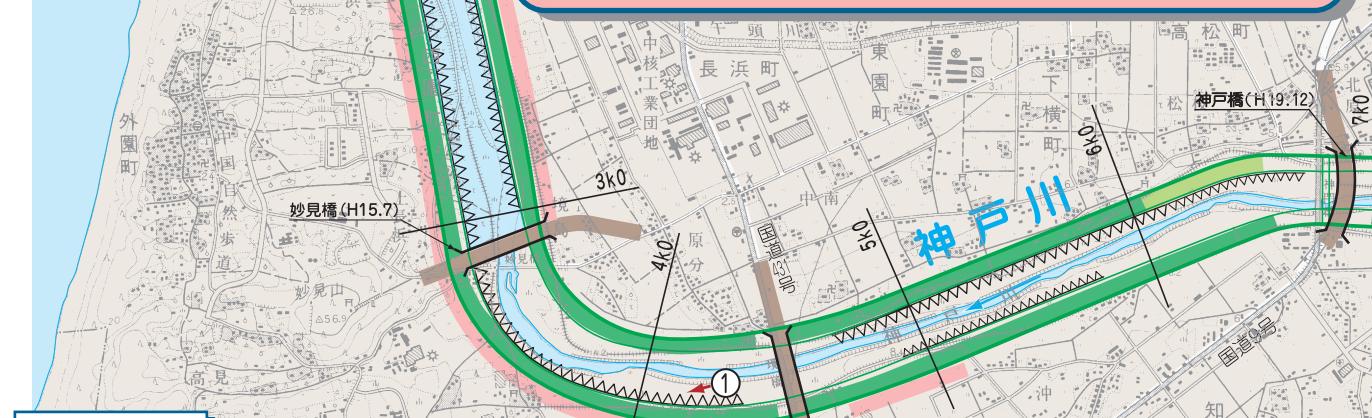
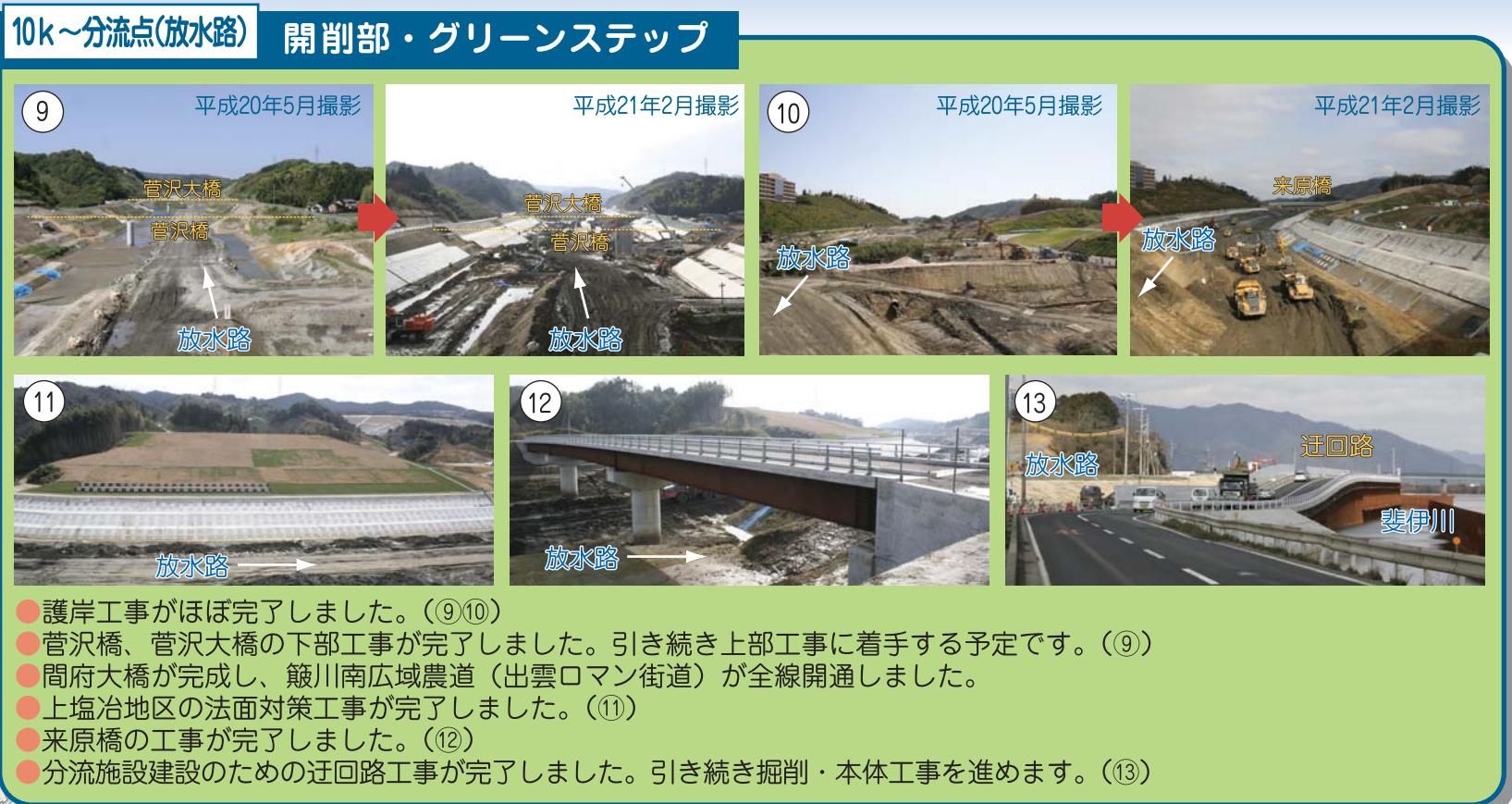
第28回出雲くにびきマラソン大会

2月11日（祝）、くにびきマラソン大会が開催されました。ハーフマラソンの部では、浜山公園をスタートした選手が神戸川の新堤防（小段道路）、新崎屋橋を走り、境橋下流右岸で折り返しました。

平成20年度までの工事

現在、工事はここまで進んでいます！

平成20年度の放水路工事は、皆さまのご理解とご協力により、ほぼ予定通り進みました。年度末の新規発注工事についても引き続き工事を進めて参ります。今月号は、今年度完了工事及び新規発注工事を中心に工事の進捗状況を紹介します。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。（承認番号：平19中複、第228号）

放水路一斉清掃を行いました

二月十二日(木)、放水路工事関係者で、放水路の神戸川合流部付近を通過する国道184号と簸川南広域農道の一斉清掃を行いました。

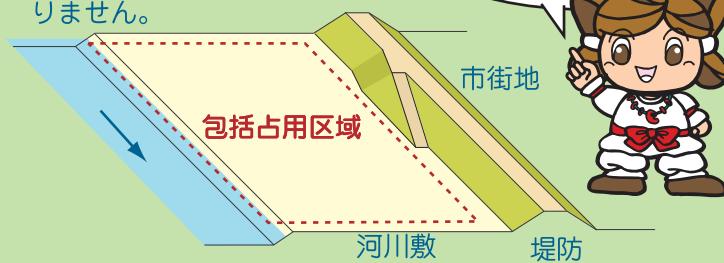
放水路の工事にご協力いただいている地域の方々へ、日頃の感謝の気持ちを表すとともに、皆様に誇れる放水路事業になるよう毎年行っているものです。今後も関係者一同、環境美化に努めてまいります。



① 占用する区域を決定

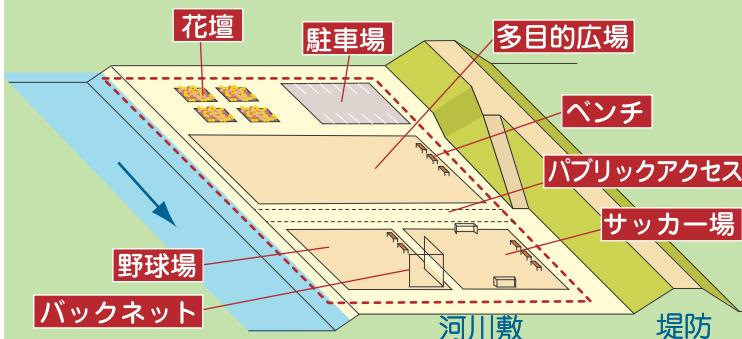
区域決定の際には、占用目的を具体的に特定する必要はありません。

包括占用とは、地元市町村が主体的に河川敷の利用について判断でき、創意工夫を活かすことができる制度だよ。



② 区域内の利用計画を策定

占用者が包括占用区域内の具体的な利用方法を決めます。



河川敷の利用・管理 事例紹介

③ 斐伊川河川敷公園(雲南省)

雲南省木次町地先の斐伊川河川敷は、平成十四年より雲南省（当時木次町）によって包括占用されています。木次町中心市街地活性化基本計画の中で、斐伊川河川敷はスポーツゾーンやイベントゾーンとして位置づけられ、その方針に基づき整備・利用計画が策定されています。河川敷には、ゲートボール場、多目的広場（イベント広場）などが整備され、市の管理のもと、多くの住民の憩いの場として利用されています。



工事発注情報

- 斐伊川放水路宇那手川樋門基礎外工事
- 斐伊川放水路工事用道路整備外工事
- 斐伊川放水路分流堰建設工事

H21.1.29～H21.6.30
H21.2.14～H21.3.31
H21.2.14～H24.3.31

大畠建設(株)
大和建設(株)

斐伊川放水路分流堰建設工事 大林組・豊國工業異工種建設工事共同企業体



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail:izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。問い合わせ先：放水路推進室 ふれあい放水路担当